

## 2年 音楽科学習指導案

場所 音楽室

指導者 杉浦 有子

題材 「ようすを おもいうかべよう」

- 音楽用ソフトを活用して -

### 1 構想

#### 児童の実態

- ・ 友達といっしょに歌ったり、身体表現をしたりすることに楽しんで取り組む。
- ・ 鍵盤ハーモニカの演奏では、運指に気をつけて意欲的に取り組むようになり、友達の演奏に関心をもつようになってきた。
- ・ 曲の気分を感じても、それを表現へとつなげることを意識していない児童が多い。

#### こんな児童にしたい

- ・ 声や音の出し方に気をつけて、気持ちを含めて歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏したりしよとすることができる。
- ・ 曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり、自分のイメージした表現をしたりすることができる。

#### そのためには、こんな教材で

この題材では、音程やリズムを正しく歌うといった基礎的な表現技能をもとに、声や音に関心を持ちながら楽曲にふさわしい歌い方や演奏の仕方を工夫するなど、表情豊かな表現を求める活動を進めていく。教材は、児童が歌詞から場面や様子を思い浮かべやすいもので、速度、旋律、リズム、伴奏の響きが曲全体の気分を醸し出している。中心教材「小ぎつね」は、歌詞から情景をとらえたり、小ぎつねの気持ちを想像することにより、楽しんで歌い方を工夫することができる。また、旋律は、八長調の1オクターブ内の音によって構成されているので、鍵盤楽器での演奏に親しむ教材としても活用できる。

#### このように指導していきたい

音楽の全体的な気分や音楽の表情の変化などを聞き取りながら、実際の体験や教科書の挿絵も参考に、自由に場面や様子を思い浮かべて聴く活動をする。次に、歌詞の内容から具体的な場面の様子を思い浮かべ、歌い方や鍵盤楽器による演奏の仕方を工夫をする活動へと移す。曲全体のイメージを膨らませるために学級全体で話し合いの場を持ち、友達と共感し合いながら漠然としたイメージをはっきりとしたものにする。その後のグループ学習で、簡単なセリフをつけたり、伴奏の音色やテンポを選択したり、副旋律や効果音も加えることができるように教師が準備をしておく。常に児童の思いを大切に、それを表現へとつなげられるよう支援していきたい。

#### こんな児童になってほしい

音楽活動を楽しみ、友達と共に音楽表現をする楽しさに気付かせたい。そして、音楽を豊かに感じ取る優しい心をもてる児童になってほしい。

2 題材構想図「ようすを おもいうかべよう」(9時間完了)  
(児童の活動)

(教師の支援)

小犬とさんぼしているようすをおもいうかべながら  
ききましょう。 「口ぶえふきと小犬」

<身体表現>

- ・スキップ
- ・立ち止まって
- ・フェルマータを意識

<想像したセリフ>

- ・うきうき、散歩はたのしいな。
- ・口笛でこっちへおいで。
- ・大きな犬だ。びっくり!



夕方のようすをおもいうかべて うたってみましょう。  
「夕やけこやけ」

- ・夕焼けは、すごくきれいだね。
- ・1番と2番は、感じが変わるね。
- ・小鳥がねむっているから、やさしい声で歌いたいな。



小ぎつねのようすをおもいうかべながら、うたの気分  
にあった 歌い方を工夫しましょう。「小ぎつね」

- ・1番は、ぎつねがとってもうれしそうだね。
- ・おしゃれなぎつねだね。でも3番は、さみしそう。
- ・ぎつねのお話をつくりたくなってきた。
- ・気持ちを込めて歌ったように、鍵盤ハーモニカで吹いてみよう。



小ぎつねのきよくにあった えんそうのしかたを 工  
夫して、正しい指使いでふこう。

- ・秋の感じが出る音を入れたいな。
- ・冬は、テンポを少しゆっくりにしてみよう。
- ・ぎつねのせりふも入れたら楽しいよ。
- ・「ラファドラソ」は、指が跳んでむずかしいね。友達と分担奏してみよう。
- ・「ソソ」は、ぎつねが「コンコン」と鳴くように吹きたい。



歌の気持ちになって えんそう会をしよう。  
「小ぎつね」

曲名を伏せて音楽を聴くことで、想像することに対する意欲を高める。

電子情報ボードで、鑑賞用DVDを利用して聴かせる。

情景を思い浮かべやすいように、きれいな夕焼けの画像を電子情報ボードで見せる。

歌詞の内容から、情景と共に心理的なイメージがとらえられるよう言葉がけをする。

音楽ソフトを使用し、グループ練習の意欲化を図る。指使いに気を付けさせ、息の出し方、リズムに乗った演奏技能を高める。

音楽ソフトを使用し、伴奏譜に選んだ音色を貼り付け、グループのイメージする自動伴奏を作っておく。

本時  
7 / 9

### 3 本時の指導(7/9時間目)

#### (1) 目標

グループや学級の友達と演奏を聴き合い、自分の目当てに向け意欲的に練習しようとする。  
曲の気分を感じ取って、想像豊かに他のグループの演奏を聴いたり、表現したりすることができるようにする。

#### (2) 準備

教師・・・ノートパソコン7台、学習課題を書いた紙、小ぎつねの曲の歌詞と楽譜を拡大したもの、児童が描いた小ぎつねの絵、キーボード、自動伴奏用フロッピーディスク  
児童・・・学習プリント、鍵盤ハーモニカ

#### (3) 本時のメディア利用 **音楽ソフト「メトロっぴと音楽7つの城」**

グループ練習での意欲化を図ることができる。

- ・演奏箇所と演奏した音の高さや長さの確認をするなど、聴覚と共に視覚も十分に使うことでグループの児童の集中が高まる。
- ・演奏速度、部分練習などを選択し、個に応じた練習ができる。

児童のイメージを確かにする手助けとなる。

- ・伴奏の音色や速度を選択したり、リズム伴奏などを加えたりして、児童のイメージを自動伴奏の中にあらわすことができる。

#### (4) 展開

時間	児童の活動	教師の支援	備考
3	1. ピアノ伴奏に合わせ、「小ぎつね」の歌を歌う。 ・小ぎつねの気持ちを想像して ・正しい音程で	・児童をピアノの周りに集め、顔を見ながらピアノ伴奏をする。 ・気持ちを込めて歌っていることを褒める。	・小ぎつねの曲の歌詞と楽譜を拡大したもの
3	2. 「小ぎつね」の曲から想像したことを発表する。 ・場面の様子	・発表する児童を数名指名する。 ・発表された内容を板書する。 ・児童のイメージした絵を取り上げる。	・「小ぎつね」の曲の様子をイメージした絵
1	・小ぎつねが話したこと		
	3. 本時の学習課題を知る。	・学習課題を貼付する。	・学習課題を書いた紙
	<p>「小ぎつね」の曲の気分になって、けんぱんハーモニカをえんそうしたり、ともだちのはっぴょうをきいたりしましょう。</p>		
3	4. 練習の目標を発表する。 ・同じ音の連続するところを優しく吹きたい。 ・「ラファドラソ」を正しい指で吹けるようにしたい。	・あらかじめ今日の目標を書いておく。 ・2, 3名の児童を指名して発表させ、楽譜に書き込む。	・学習プリント(めあてと感想を記入するもの)
18	5. グループごとに鍵盤ハーモニカの	・グループに分かれて練習をするように	

<p>1 3</p>	<p>練習をする。</p> <p>&lt; 予想されるグループ分け &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分担奏を取り入れて練習したいグループ</li> <li>・オブリガートをつけて合奏に取り組みたいグループ</li> <li>・一人ひとりの演奏をじっくり聴き合いながら演奏を楽しみたいグループ</li> </ul> <p>&lt; 練習の仕方 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく吹けない部分を取り上げて</li> <li>・分担奏をしながら</li> <li>・一人ずつ交代で</li> </ul> <p>6. 練習の成果を確かめる。</p> <p>&lt; 聴く側の目当て &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の仕方の工夫を見つける。</li> <li>・演奏を聴いて感じ取ったことを自分の言葉で表現する。</li> </ul>	<p>指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカの音が大きすぎないように、ケースに置いた状態で吹くようにさせる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングなど困っている児童がいたらアドバイスする。</li> <li>・上手に吹けていたら褒める。</li> <li>・グループで聴き合ったり、教えあったりして仲良く練習できるよう励ます。</li> <li>・演奏するグループを指名する。</li> <li>・自動伴奏に合わせて、グループ発表をしたいところがあればしてよいことを知らせる。</li> <li>・発表を聴いた感想が言える児童を指名する。</li> <li>・演奏のよいところを教師も褒める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループ(3~4名)に1台ノートパソコン(使用ソフト:メトロっぴと音楽7つの城)を用意しておく。</li> <li>・キーボード</li> </ul> <p>3 7. 今日の授業の感想を書く。</p> <p>1 8. 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目標、感想を書く用紙</li> </ul>
------------	---	--	--

(5) 評価

友達の良いところを見つけたり、友達のアドバイスを取り入れたりして、自分の目標に向かって積極的に練習に取り組むことができたか。

活動5、6の様子や演奏・活動7の記録より

曲の気分を感じ、それを表現することができたか。

活動5、6の演奏より